

# 学校の臨時休業中における児童生徒への学習支援アイデア集

## 臨時休校措置に対応した指導について（外国語）

～前年度の3月に未習単元・未習文法等がある場合～

1つの単元  
単元の1部が未習

該当の単元や内容が、新年度の授業時間を使って、扱う必要があるかどうか、CAN-DOリストや令和2年度の指導計画から判断

教科書の単元を使い、  
3月に予定していた通りの授業を行う

どちら  
かの方  
法で

必要な言語材料等を抽出して、他の学習事項と併せて指導

新出文法事項の  
扱い

○定着のための十分な練習や言語活動を行うことができなかった場合

新中学2年生

一般動詞の過去形とbe動詞の過去形を対比しながら、同時に学習

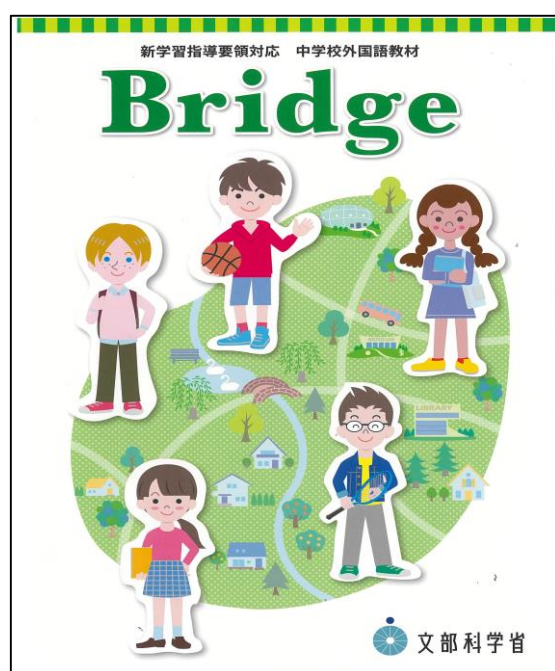
新中学3年生

受け身が未習の場合、最初の単元で受け身の疑問部やsvocの受け身を進出文法事項と扱っているため手厚く指導を行う。

比較級が未習の場合、受け身を学習する際に比較級の練習を合わせて取り入れることが可能。

「どちらが～か」「どれが1番～か」の事実を述べたり、「どちらが～と思うか」、「自分はどれが1番～か」と意見を求める言語活動を行う

リーディング指導  
○補助教材の「Bridge」を活用



How to Listen to Audio (音声の聞き方)

本教材には各トピックの本文やサンプルアンサーの音声聞くためのしくみがあります。

① 各トピックの右上にはQRコードが印刷されています。

② そのQRコードにスマートフォンをかざして、カメラ機能または専用アプリを利用してURL(サイトのアドレス)を読み取ってください。

③ 表示されたアドレスをタップすれば音声画面が開きますので、聞きたい音声を選んで再生をしてください。

\*使用料は発生しませんが、通信費は発生します。

\*PCで再生する、もしくはQRコードがうまく読み取れない場合は以下のアドレスにアクセスしてください。

<https://www.english-jhs.com/>

リーディング指導  
○教科書を活用

学年末に扱う予定であった教科書のリーディング教材を、速読教材として、単元と単元の間の時期や、定期考査終了後のなどの時間に投げ込み教材として扱う